



赤そばの花 (藤原町長尾)

にぎわいの森でのびのび

小さな図書館

11月5日(火)、にぎわいの森で「小さな図書館あそびの森」を開催しました。これは図書館と子育て支援センターが共催したもので、未就園児とその保護者が、自然の中で絵本に触れたり、「おでかけGo」のおもちゃで遊んだりするものです。

参加者は1時間ほど自由に遊んだあと、全員でわらべうたを歌ったり、音楽に合わせて体操をしたり、大型絵本を鑑賞したりしました。

2歳の娘さんと参加した土岐ゆかりさんは「いいお天気で、いつもの支援センターとは違う感じで楽しめました。娘は初めての場所では慣れないことが多いのですが、今日はしばらくたつと慣れて周りの子と仲良く遊んでいました」と話していました。



1. 青空の下で読み聞かせ 2. 市内外から約100人が参加 3. ジャンプ! 思いっきり体を動かしました

自然や歴史を体感

東保育園野外体験保育

11月20日(水)、員弁東保育園の5歳児が野外体験保育で金井城址を訪れました。

子どもたちは、金井城の歴史を聞いたあと、起伏のある森を探検。落ち葉や木の実を拾ったり、幼虫や白いクモを見つけ友だちに教えてたりしていました。

最初は森の薄暗さに「怖い」と戸惑っていた子がいましたが、帰り道では「楽しかった」「また行きたい」と目を輝かせていました。

同様の体験が、子どもの自主性や創造性などを育む取り組みのひとつとして、市内の多くの保育園で進められています。

1. 行き帰りは手をつないで 2. 持ち帰ったどんぐり 3. 滑らないように工夫



秋の味覚を収穫

十社小学校自然薯掘り

11月11日(月)、きもとファームが管理する畑で十社小学校の5年生14人が自然薯掘りを体験しました。これは(株)きもとが地域貢献の一環として取り組んでいるものです。

今年4月に植えた種芋は小学生の身長と同じくらいまで育っていて、折れないように慎重に掘り出していました。1本掘り出すのに10分以上かかり、ようやく土から取り出すと児童は笑顔を見せていました。

参加した児童は「すぐ掘れると思っていたけど、すごく時間がかかった」「折れてしまいそうで難しかった」と話していました。

1. 折らずに収穫できて喜ぶ児童 2. 初めての自然薯掘りでみんな長い芋に興味深々



ママの趣味や特技の作品並ぶ

マママルシェ

11月13日(水)、員弁老人福祉センターで子育てサロンさくらんぼがマママルシェを開催。今年で5年目を迎え、いなべ市やその周辺地域からおよそ30店舗がバザーに出展しました。



会場では手づくりの雑貨やアクセサリが並べられたほか、写真撮影会などのワークショップなどがありました。バルーンアートのプレゼントには子どもたちが集まり、お気に入りの作品をもらっていました。

訪れた人は「子どもと一緒に出かけできて、さらに大人も楽しめるから嬉しい」と楽しんでいました。

1. 年々来場者が増え、周辺市町から訪れる人も 2. 子どもたちも親と一緒にバザーを満喫 3. 市民活動団体によるバルーンアートのプレゼント

いなべのグルメを味わいながら

いなべヴェロフェスタ

10月27日(日)、今年で4回目を迎えた「DENSO Presents いなべヴェロフェスタ」が開催されました。これは、いなべ市内14カ所に設定されたチェックポイントを自由に自転車で巡り、リストバンドを集めるイベントです。チェックポイントは市内の観光名所や、市内の飲食店。飲食店では食べ物提供され、多くの人々が列を作っていました。

当日は700人が参加し、家族や友人と一緒にサイクリングするなど、いなべのグルメと風景を楽しんでいました。



1. さくらポークを使ったシューマイ 2. 毎年すぐに募集が埋まるくらい人気の催し。キナンサイクリングチームの選手も一緒に走っています